

---

# 変な夢～AMAZING CRAZE～

夏木 岳

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

変な夢～ AMAZING CRAZE～

### 【Zコード】

N2161C

### 【作者名】

夏木 岳

### 【あらすじ】

アメイジング・クレイズ、壊れた世界。私はノイズに帰るだけ。

(前書き)

この小説は企画小説「変」の一作品です。  
他の方の小説を読むことができます。

変小説

で検索すると

あなたは気付いてる?

もうここはリアルじゃないのよ。

ここは夢の世界。

ゴールは零になるの。絶対、ね。

さあ、ノイズに帰りましょう。

## AMAZING CRANE (壊れた永遠)

変な夢。

私が「それ」に出会ったのは、丁度秋分の日に入る前。今はまだしばらくは暑いだらうけど、つまりは三ヶ月は前つてこと。

「それ」の時、真っ白い塔の天辺、平らで何も見当たらぬ寂しいところに私はいて、西に沈む夕陽を眺めていた。赤い丸が地平線の彼方に完全に隠れると、夜が来ると思えば、世界が反転した。塔は黒、空は白。色のある私は気持ち悪い緑や紫になつた。

そして、女人の声が聞こえて目が冷めた。

あれは神様? それなら納得できる。私と、何人かは。

あと残りの人はふざけるなつて言うだらうけど、どうでもいい。

第一「それ」がもたらしたものは、誰も気付いてない。だからって言つ氣も無いし、他人なんて気にかける必要があると思えないから。

「おやすみ」

「……おやすみ」

私は部屋から出て、少し遅い食卓に出る。パンを一かけらかじる

と、暖かいココアをゆっくりと飲み干し、戻つて制服に着替える。鞄には何も入つていない。学校のロッカーにも何も入つてない。ただ、親や学校が煩いから行くだけ。

うちの両親は駄目だ。父は私を体しか見ていないクズ、母は体面ばかり気にするくせに浮気ばかりの「」。どちらも大したことないくせに、自分の子供だからって無駄な期待をかけてくる。何度も殺してやると思うくらい、酷い扱いの中で。

「お帰り」

「ただいま」

くしゃくしゃの髪を梳いたら、準備完了。やつと慣れてきた新しい革靴を履いて、玄関を出る。言葉が反転してるのは慣れないけど、別に気にするほどものでもない。どうせ氣のないものだから。

お付き合い二年目の、まだぴかぴかの自転車のペダルを踏む。真つ赤な世界はもうない。遅刻だけど急がない。遠回りだけど気にしない。

「暑い……」

照り付ける太陽が眩しい。汗を吸つたスカートが太股にまとわりついてうつとおしい。制服はまだ透けないだけまだけど、そのうちそうなる。

遠い。休もう。

私は自転車を止めた。

学校に着いたのは、日が真上に居座る頃だった。お昼休みはもうすぐ。

クラスの扉を開けると、エアコンに冷やされた空氣と、それよりも温度の低い視線。一旦時が止まって、また会話が始まる。何」とも無かつたかのように。

机の横に鞄を掛けて、頬杖を突いてゆつたりと室内を見回した。トランプ。携帯。音楽。談笑。ゲーム。どれも下らない連中だ。

空いた空間に顔を向けると、時間割が目に入った。一時限目から現国、現社、体育、世史、日史、英語。教師は入れ替わりに入るが、誰も周りで騒ぐ馬鹿と大差ない。金八もグレイトティーチャーもないのはわかりきったことだけど、さすがにレベルが低すぎる。

農みで溜め息を吐くと、教師が少し早く入ってきた。私を確認すると、遅刻理由も追及なしに、いや言葉すらなしに出席簿にチェックを入れる。

どいつもこいつもいる。もとは私から離した。だつて会う前から必要なんてしていない。

現社、現国と終わり、短いがもう始業の鐘を聞き、私は学校を後にした。

私はすぐに帰らず、公園で時間を潰す。明るみが消えて、真っ白い霞んだ世界になるまで、じつと座り込んで目を瞑る。そうなれば、たまに黒猫と戯れた。動かない太った黒猫。体はたつぱりと膨らんで、この前生まれた子猫は見当たらない。きっと、お腹の中だと、私は子猫からあることを思い出した。

今日は誕生日。生まれた日だ。十七歳だ。よし、帰らない。学校も休みにしよう。

私はなんとなくそう決め、ゆつくじと皿を瞑つた。

ノイズに帰るまで、あと十七年。

ホラ。日が東に沈んで。



（後書き）

ぐだぐだ。意味不。……伝わるかな（汗  
くと、いくつかメッセー<sup>ジ</sup>がありました。ありがとうございます。  
私は元気……かな？

久しぶりに作者ページに行

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2161c/>

---

変な夢～AMAZING CRAZE～

2010年10月10日05時54分発行